



独立行政法人国立病院機構

水戸医療センター



独立行政法人国立病院機構

水戸医療センター

〒311-3193
茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 280
電話: 029-240-7711
FAX: 029-240-7788
www.hosp.go.jp/~mito-mc/

病院見学随時受付中!!



医師臨床研修案内



私たちは地域の人々より
信頼されるよう日々研鑽し、
安全で良質な医療を提供します

はじめに

当院は、明治43年（1910年）に水戸陸軍衛戍病院として創設された100年以上の歴史ある病院です。戦後、昭和20年（1945年）厚生省に移管され国立水戸病院として発足、平成16年に独立行政法人化に伴い国立病院機構水戸医療センターとなりました。現在、29科の診療科、病床数500床を有し、がん、脳卒中、心臓病等の専門医療および救命救急センター（3次救急を担うドクターヘリの基地）を中心として茨城県県央地域の医療の向上に貢献しております。職種間のコミュニケーションも活発で、病院全体で未来を担う医師を育てたいと考えています。

当院の初期研修では、時間を争う救急医療から、患者さんとじっくり向き合ってゴールを目指す慢性疾患診療までを十二分に研修することができます。もちろん、ドクターへの同乗も経験できます。当院は茨城県水戸市郊外の広大で長閑な土地にあり、医療に集中できる環境にあります。是非、研修の現場を見学に来て下さい。

教育研修部長 小泉 智三

病床数	医療法承認病床数 500 床
診療科目	内科、精神科、心療内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、臓器移植外科、内視鏡外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、救急科、麻酔科、病理診断科、（腎臓内科、小児科、小児外科、産婦人科） * 歯科：入院患者の応急治療対応 * 緩和ケア病棟あり

病院施設・教育環境

■病院施設

当院は、木目調を基調とした暖かみのある住環境をコンセプトとして設計された、築年15年あまりの施設です。清潔感にあふれ、患者、医療者ともすごしやすい、落ち着いた環境となっています。休憩室・更衣室・仮眠室・シャワー室・当直室が整備されています。敷地内には、単身用・世帯用の宿舎を併設しており、希望者は入居可能です。また保育所があり、出産、育児をしながら働いている女性医師もおられます。

■教育環境

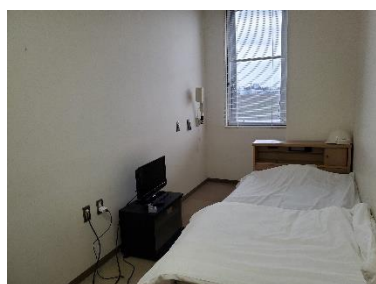
初期・後期研修医用の医局があり、研修に必要な図書室とインターネット環境があります。各自のパソコンから国立病院機構および当院で独自に契約している文献検索等、各種データベースへのアクセス可能です。

当院では、2ヶ月に一度、ミニ講座を60分（30分2コマ）開催しています。普段は病棟や外来で診療をしておりますが、ミニ講義では、座学で専門医の先生に、鼻出血の対応、肺炎の対応等（下記参照）講義してもらえます。

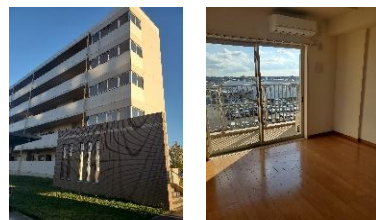
ドクターヘリ基地施設、3次救命センターを併設している関係で、初期救急のシミュレーション教育も盛んです。BLS・ICLS・AHA-BLS・AHA-ACLC・JMECCを院内開催しています。是非積極的に参加し、インストラクターを目指してください！



病棟



当直室



宿舎



図書室



ミニ講義テーマ（例）

【循環器科】	不整脈（頻発性不整脈と徐脈性不整脈の診断と対応）
【循環器科】	ショックの鑑別
【呼吸器科】	喘息発作の対応
【呼吸器科】	肺炎 抗生剤の使用
【消化器科】	管出血の対応
【皮膚科】	発疹学
【M E】	人工呼吸器の使用法（BiPAP含む）
【救急科】	気道確保 穿刺法（胸腔 腹腔）・軽度熱傷の処理
【外科】	皮膚縫合と創処置
【脳神経外科】	脳血管障害、頭部外傷の初療
【整形外科】	四肢の外傷 包帯法 シップの使い方
【整形外科】	骨折の対応
【泌尿器科】	排尿障害、導尿法、血尿の対応
【耳鼻科】	鼻出血の対応 突発性難聴の診断と治療
【精神科】	せん妄、うつ病への対応

国立病院機構のネットワークを生かした研修

当院以外にも国立病院機構の企画する研修に参加することが可能です。

【研修企画名】

医師を育てる研修：循環器疾患に関する研修、腹腔鏡セミナー、
救急初療パワーアップセミナーなど
チーム医療研修：シミュレーション教育の実践研修など
重度心身障害児(者)に関する研修：重心医療を知ってみようなど
国立病院総合医学会：若手医師フォーラム

研修理念

病院理念のもと将来の専門性にかかわらず、社会の枠組みの中で医療に携わるチームの一員としての見識を持ち、患者の多様なニーズに対して全人的な対応できる臨床能力を身に付け、実践できることを基本理念とする。

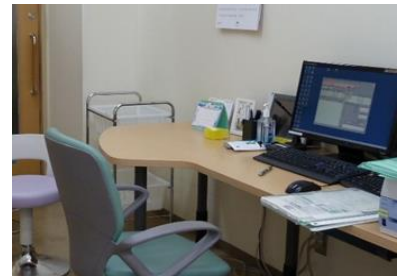


当センターの特徴

HOT & COLD 2つの顔

ドクターヘリ基地を有する3次救命センターでもあり、
がん拠点病院でもあります。

日本人の三大成人病である、がん、脳卒中、心臓病患者を中心に、救急搬送患者からがんの化学療法、緩和ケアまで、内科外科を問わず様々な症例を経験することができます。したがって、研修ではドクターヘリに乗って処置、治療の時間との戦いの経験と、じっくり患者さんや家族と向き合って時間を共有することの大切さを経験できます。できるだけ一つの科を1~3人の研修医に割り当て、多くの経験を積めるように配慮しています。



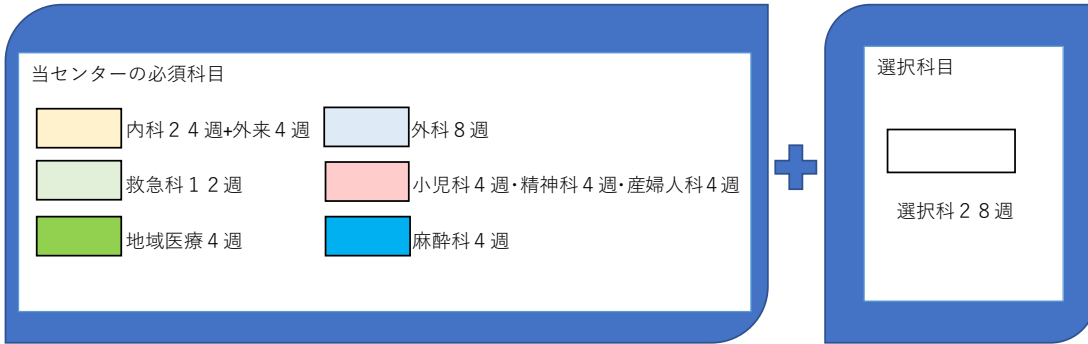
臨床研修制度の見直しにより、2020年度から必修科目が、内科（24週以上）、外科、小児科、産婦人科、精神科（各4週以上）、救急科（12週以上：ただし、うち4週まで麻酔科に振りかえ可能）となり、外来診療（4週以上）も必須となっております。当院での外来研修は、一般内科外来を内科ローテート中に内科指導医のもと研修を行っております。

6か月の内科研修では、診断のプロセスを重視し、身体診察からアセスメント、プランまでのプレゼンテーションをトレーニングします。外科では、簡易縫合の実際を含む基本的な外科手技、術後管理を習得すること、救急科では救急対応ドクターヘリ搭乗などを体験し救急疾患の初期対応を確実に身につけることを目標としています。麻酔科も一定の期間研修できます。一年目の後半から二年目にかけて、小児科、産婦人科、精神科、地域医療の研修を右記協力病院で主に研修いたします。自由選択では、3年目以降の方向性を踏まえできるだけ希望にそって研修科を設定します。



初期臨床研修

ローテーション



研修の具体的なローテーション例

1年目										2年目													
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科 + 外来						救急			外科	地域医療	小児科	精神科	産婦人科	麻酔	選択科								

診療科別研修先

必須科目	診療科	研修先	選択科目	診療科	研修先	
必須科目	内科	水戸医療センター	選択科目	循環器内科	水戸医療センター	
	救急	水戸医療センター		消化器内科	水戸医療センター	
	地域医療	地域医療		城南病院	呼吸器内科	水戸医療センター
				城南病院附属クリニック	茨城東病院	
				石岡第一病院	血液内科	水戸医療センター
				水府病院	神経内科	水戸医療センター
				志村病院	精神科	水戸医療センター
				小美玉市医療センター	石崎病院	
				志村大宮病院	筑波大学附属病院	
				大場内科クリニック	小児科	茨城県立こども病院
				井出整形外科内科クリニック	日立製作所ひたちなか総合病院	
				いわき病院	石岡第一病院	
	外科	水戸医療センター		放射線科	水戸医療センター	
	麻酔科	水戸医療センター		筑波大学附属病院		
	小児科	小児科		霞ヶ浦医療センター	茨城県立中央病院	
				茨城県立こども病院	水戸医療センター	
				日立製作所ひたちなか総合病院	筑波大学附属病院	
	精神科	精神科		石岡第一病院	脳神経外科	水戸医療センター
				水戸医療センター	心臓血管外科	水戸医療センター
	産婦人科	産婦人科		石崎病院	整形外科	水戸医療センター
霞ヶ浦医療センター			産婦人科	霞ヶ浦医療センター		
水戸済生会総合病院			筑波大学附属病院			
東京医科大学茨城医療センター			水戸済生会総合病院			
茨城県立中央病院			茨城県立中央病院			
筑波大学附属病院			東京医科大学茨城医療センター			
小山記念病院			小山記念病院			
泌尿器科			水戸医療センター			
耳鼻咽喉科	水戸医療センター					
眼科	水戸医療センター					
皮膚科	水戸医療センター					
麻酔科	水戸医療センター					
霞ヶ浦医療センター						
病理	筑波大学附属病院					
地域医療	地域医療	水府病院	泌尿器科	水戸医療センター		
		城南病院	耳鼻咽喉科	水戸医療センター		
		城南病院附属クリニック	眼科	水戸医療センター		
		茨城県赤十字血液センター	皮膚科	水戸医療センター		
		志村病院	麻酔科	水戸医療センター		
		小美玉市医療センター	霞ヶ浦医療センター			
		志村大宮病院	病理	筑波大学附属病院		
いわき病院	地域医療	水府病院				
内科一般	内科一般	水戸協同病院	地域医療	城南病院		
		茨城県立中央病院	内科一般	城南病院附属クリニック		
		筑波大学附属病院	茨城県立中央病院			
		水戸済生会総合病院	筑波大学附属病院			
		茨城東病院	水戸済生会総合病院			
リハビリテーション科	城南病院					
志村大宮病院						

* 今後も他病院・医院に申請中です。



外科と救急科の色が強い印象の病院ですが、内科も急性期から慢性期まで豊富な症例が揃っています。私は外科志望であり、外科のローテーションで多くの手術を経験出来た事は非常に勉強になりました。他にも院内で多くの診療科が揃っているため、様々な科を自由に回る事が出来ました。非常に密度の濃い2年間であり、当院での研修を選択して良かったと心から思います。

初期研修医 Aさん

当院の特徴として、3次救急であるため、外傷などの重症患者の対応を学ぶことができ、CV挿入などの手技も研修医のうちかから経験することができます。救急科ではドクターヘリに乗る機会があります。

医療スタッフ同士、レジデント同士の距離が近く、私が初めて病院見学に来た際も雰囲気がとても良いと感じました。病院の敷地内に宿舎があり、研修医のほとんどが同じ棟に住んでいるので、研修医同士で飲んだり、旅行に行くなど、職場以外でも仲が良く、毎日充実した日を送ることができています。興味があれば、ぜひ病院見学にお越しください。

初期研修医 Bさん

当院は田畑や牧場に囲まれ、夏季には除草作業用に山羊が雇われるような長閑な環境にありながら、3次救急らしい緊急性の高い疾患から緩和ケアに至るまで様々な症例を研修することができます。協力施設での研修も交えながら、必要十分な研修を行うことができるため、プログラム面で困ることはありません。ぜひ一度見学にいらししてください。何事も「百聞は一見に如かず」ですよ！

初期研修医 Cさん



私が水戸医療センターでの研修を志した理由は、初期研修のうちに救急疾患と呼吸器疾患を数多く経験できると考えたためです。当院は、ドクターヘリを運航していることや外科の医師数の多さから外科が主体の病院なのではないか？と思われがちですが、内科系疾患も十分経験することができます。特に、呼吸器内科は常時100人近くの患者様が入院しており、様々な経験を積むことができたことが、私が進路を決定する一つの要因となりました。来年度より筑波大学附属病院呼吸器内科に所属することとなりますが、呼吸器内科としての第一歩は当院でスタートすることとなりました。これから2年間の研修で得た知識や技術を生かしていき、茨城県の医療に少しでも貢献できるように精進していきたいと考えております。

初期研修医 Dさん

2年間という短い期間ではございましたが、先生方や看護師の方々、その他多職種の方々のサポートもあり、幅広く、かつ密度の濃い経験をすることができました。医学的知識や技術はもちろん、社会人としてのあり方から多岐にわたり勉強させていただきました。

初期研修医 Eさん

2年間で最後の当直中、静かな院内を歩いていると、2年間の思い出が走馬灯のように蘇ってきました。2年前の4月、初めての当直の日、末梢路を確保できず、これから頑張らなければと自覚したあの日。そして2年後、採血がうまくとれず。当たり前ですが、自分の未熟さを痛感した今日。この2年間、各科を回らせていただき、様々な先生方やコメディカルの方々に温かく、そしてときには厳しく、辛抱強くご指導いただきました。2年次になり、院外研修を行うようになり、水戸医療センターの温かさを改めて感じるが多々ありました。本当に未熟な私を広い心で受け入れてくださり、感謝してもしきれません。4月からは茨城県立こども病院の小児科に入職します。将来、何らかの形でお役に立てるよう精進して参ります。今まで育ていただき本当にありがとうございました。

初期研修医 Fさん



後期専門研修(内科)

当院では、内科・外科が基幹施設として研修することが可能です。その他の診療科については、連携施設として研修を行います。内科・外科ともに全般をじっくり研修することも専門研修を重点的に行うことも可能なプログラムになっています。

【特徴】

内科は循環器(2)消化器(3)呼吸器(4)血液(4)神経(4)の5診療科編成でアレルギー(3)腎臓(1)の専門医資格を持つ医師も在籍しています。(各専門医数)

スタッフ医師は大部屋の大医局内で日夜顔を合わせて情報交換でき、風通しの良い集団です。内科グループ全体で約200人の入院患者と約270人/日の外来患者の診療に当たっています。指導医17名(総合内科専門医15名)の体制で専門研修初年度をスタートさせています。研修コースは全内科を深く研修する標準コース、サブスペシャルティ領域への効率良い移行を考慮したコース、茨城修学生向けの専門研修と地域医療研修のバランスを考慮したコースの三つに大別され、専攻医のライフプランに沿った柔軟なプログラム運用に力を入れる予定です。

* 標準コース

後期研修1年次			
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器 救急 (基幹施設)	呼吸器 アレルギー (基幹施設)
後期研修2年次			
消化器 (基幹施設)	代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	腎臓 (連携施設)
後期研修3年次			
選択科① (連携施設)	選択科② (連携施設)	選択科③ (連携施設)	選択科② (連携施設)

☆標準的な3年間で全コースをまれなくローテーションし、最終的に専攻科を決める

* サブスペシャル領域直結コース 消化器科専攻コース

後期研修1年次					
神経内科 (基幹施設)	血液内科 (基幹施設)	膠原病 (連携施設)	代謝内分泌 (連携施設)	腎臓 (連携施設)	循環器 救急 (基幹施設)
後期研修2年次					
呼吸器 (基幹施設)	消化器 (基幹施設)	補充研修 基幹 連携施設)			
後期研修3年次					
消化器 基幹施設または大学病院を含む連携施設)					

☆1診療科が2ヶ月間の短期研修の場合、規定の症例数の経験ができないことを想定し、補充期間を設ける 当院12ヶ月+α、連携施設12ヶ月+α)

* 茨城県修学生 向き) 地域医療重視コース

後期研修1年次					
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器 救急 (基幹施設)	呼吸器 アレルギー (基幹施設)	消化器 (基幹施設)	腎臓 (連携施設)
後期研修2年次					
代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	地域 連携施設 特別連携施設)			補充研修 (連携施設)
後期研修3年次					
地域 特別連携施設)			地域 連携施設)		

後期専門研修(外科)

【特徴】

- 1) 消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、一般外科、心臓血管外科、救急科が1つの大きな外科としてまとまっており、外科全分野の研修が可能です。
- 2) 大きな外科として各専門分野の外科医師全員で毎朝合同カンファレンスを開催し、全外科手術症例の検討をしており、全外科分野の研修になります。
- 3) 外科サブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科）各分野の専門医が高度で先進的な医療を提供し、外科専攻医の指導にあたりますので、外科専門医外科サブスペシャリティ領域の専門医所得までの研修が、継続的に可能です。
- 4) 外科での高度で先進的な医療として、内視鏡外科の手術支援ロボットダ・ヴィンチを用いた手術や臓器移植にも係わることができます。
- 5) 救急ではトレーニングを積みばフライトドクターとして活躍することも可能です。

研修モデル

①連携施設研修先行コース

1～2年次に連携施設で研修を行い、3年次以降、基幹施設で研修を行う

コース	後期研修1年次	後期研修2年次	後期研修3年次
コース1	連携施設 A		水戸医療センター 連携施設 A
コース2	後期研修1年次	後期研修2年次	後期研修3年次 水戸医療センター
コース3	連携施設 A		水戸医療センター
コース4	後期研修1年次	後期研修2年次	後期研修3年次 連携施設 B 水戸医療センター

②基幹施設研修先行コース

研修 年次に水戸医療センターでの研修を6～12ヶ月間行い、2年次以降連携施設での研修を行う

コース	後期研修1年次	後期研修2年次	後期研修3年次
コース1	水戸医療センター 連携施設 A	連携施設 B	
コース2	水戸医療センター	連携施設 A	
コース3	水戸医療センター	連携施設 A	連携施設 B
コース4	水戸医療センター 連携施設 B	連携施設 A	

③サブ領域展開コース

研修 年次からサブスペシャリティを見据えて研修

コース	後期研修1年次	後期研修2年次	後期研修3年次
コース1	水戸医療センター		連携施設 A 水戸医療センター

④茨城県地域特化研修コース

茨城県地域医療医師修学資金貸与者は連携施設より「指定施設」を選択した研修が可能

コース	後期研修1年次	後期研修2年次	後期研修3年次
コース1	連携施設 A		水戸医療センター 連携施設 a
コース2	連携施設 A	連携施設 a 連携施設 A	水戸医療センター
コース3	水戸医療センター 連携施設 a	連携施設 A	連携施設 B
コース4	水戸医療センター 連携施設 A	連携施設 a	連携施設 A

■ 処遇

身分： 国立病院機構水戸医療センター 期間職員

給与： 独立行政法人国立病院機構期間医師の給与等に関する規程に基づき支給

* 初期臨床研修： 月額 40 万円程度手当込み

* 後期専門研修： 月額 50 万円程度手当込み

賞与 2 回以上支給

休日： 土日祝日、年末年始（12/29～1/3）※日・当直、オンコール以外は原則休日

宿舎： 病院敷地内に研修医宿舎（単身者・世帯用あり）

■ 見学を希望される方へ

当院では、随時見学を受け入れています。希望される方は、水戸医療センターホームページを確認の上、お申し込みください。

HP：<https://mito.hosp.go.jp/doctor/igakusei.html>



交通案内

- ①バス JR 水戸駅～水戸医療センター行き約 40 分
- ②バス JR 赤塚駅～水戸医療センター行き約 25 分
- ③車 常磐自動車水戸 IC から約 20 分
- ④車 北関東自動車道茨城町西 IC から約 10 分